

CORPORATE

PROFILE



TOP MESSAGE

前田建設は、1919年に福井県で創業し山岳土木工事に着手して以降、都市土木、建築、海外といった土木・建築事業の「請負」分野を主軸としてきました。そして2011年に「脱請負」を宣言し、官民連携のコンセッションや再生可能エネルギーなどインフラ運営事業にも取り組んでいます。

2021年には「インフロニア・ホールディングス」が設立され、前田道路・前田製作所・日本風力開発とともに、「総合インフラサービス企業」として新たにスタートを切りました。

2025年度より投資事業拡大フェーズとして、新中期経営計画(2025-2027)を定め、さらなる成長を目指します。
近年、少子高齢化・自治体の財政難が進むなか、気候変動や災害、インフラの老朽化への対応が大きな社会課題となっています。また地域ごとの魅力を高め、持続的な地域活性化が期待されています。
そのため当社は、長期的に地域に寄り添う事業として、アリーナ、下水・工水、道路、空港といった社会インフラの建設から運営・維持管理までを一貫して担っています。
請負・脱請負の好循環を創出する唯一無二のビジネスモデルの確立し、時代とともに変化・多様化する地域社会における課題解決や付加価値創造に取り組んでいきます。

代表取締役社長
前田 操治



M A E D A

創業理念

良い仕事をして
顧客の信頼を得る

前田建設創業の理念にして、品質方針として掲げる「良い仕事をして 顧客の信頼を得る」。誠実にものづくりに徹することで生まれる顧客と社会との信頼感。それが次の一歩につながる。

社は

誠実
意欲
技術

事業をやっていくからには儲けなければならない。
だが、儲けることばかり考えていたのでは事業は持続しない。
そこに真心があり、取引先と心の触れ合いがあってこそ事業は持続し、発展する。
「誠実」が事業の根本である。

仕事、それは自分との戦いである。
技術にしても、価格や工期にしても負けないという自負心や、打ち克たねばならぬとして己を鞭打つ「意欲」に欠けては仕事は出来ない。要は“やる気”である。
「意欲」それは仕事においても、人生においても不可欠な心の糧である。

前田は「技術」を売る会社である。
工事の出来栄をひと目見れば、これは前田がやったのだということがわかるような仕事でありたい。
他人のまねをするより、他人がまねたがる「技術」それが我々の売りものである。

前田建設のイノベーションを 牽引する総合力

スペックと設備を兼ね備える国内最大級のアリーナ



名城公園内に位置するIGアリーナは、最大収容人数 17,000 人、天井高 30m を誇るグローバル水準のアリーナです。日本初の「BT+コンセッション方式」が採用され、特別目的会社へ出資する前田建設は、設計・施工から運営・維持管理まで一貫通貫で携わっています。これにより、運営期間のビジネスモデルを見越して設計に組み込むことができ、施設の価値をより高めることが可能となりました。設計・施工段階では、多機能・可変型の座席配置や優れた音響環境など、先進的な機能を施すだけでなく、公園の自然と調和するように、外観・内観ともに木々のイメージを取り込みました。このような設計・施工段階からの工夫が、IGアリーナをより魅力的な施設にしています。運営段階では、大手通信会社や世界のトップアリーナ運営会社等の異業種とも連携し、相互の強みを生かした新たなビジネスモデルを展開。世界水準のアリーナ空間と最先端のスマート技術により、多くの方には選ばれるアリーナを目指しています。このように、建設会社として長年培ってきたエンジニアリング力と、新たに注力している脱請負の相乗効果によって、総合インフラサービス企業ならではの付加価値を創造します。

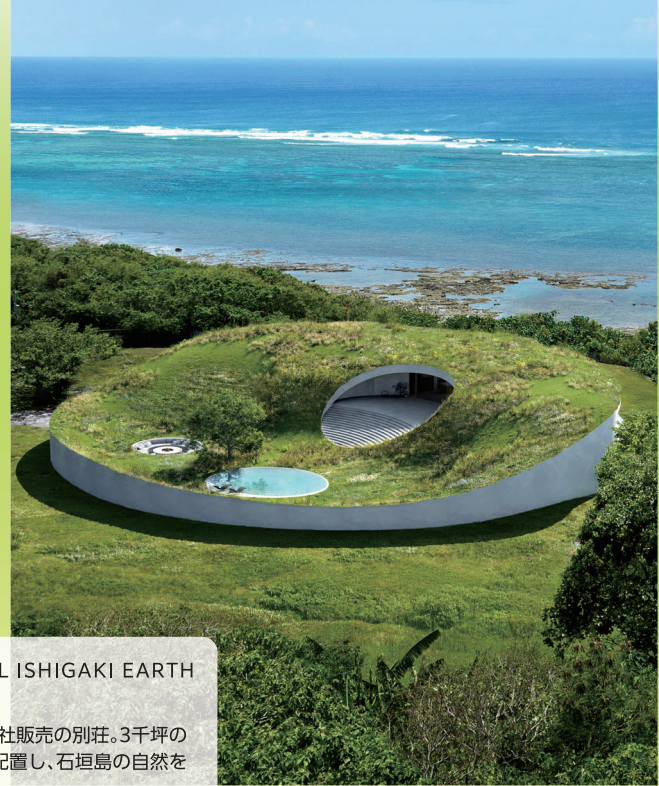
「世界に唯一のドライビングクラブ」をコンセプトに実現



千葉県南房総市に建設した、アジア初となる会員制プライベートドライビングクラブ(コース延長：3,549m、幅：10m)。この工事は、土木・建築が一体となって取り組みました。メインコースをつくる大規模土木工事では、日本の主要なサーキット場を視察し、路面状態を調査することから始めました。平坦性や滑り抵抗値等の項目まで細かく目標を設定し、極力継目の無い舗装を行うことで最高の走り心地を追求しました。度重なる試験施工を実施した結果、18.65%という急勾配で高品質な舗装を実現しました。建築工事ではメインのクラブハウスをはじめ、2種類のオーナーズパドックやガレージ、ゲート等の6種の建造物を施工。会員制プライベートドライビングクラブにふさわしい施設として、素材や仕上げにこだわりぬき、他に類をみない、独創性の高いデザインと付加価値のある建物づくりを目指しました。



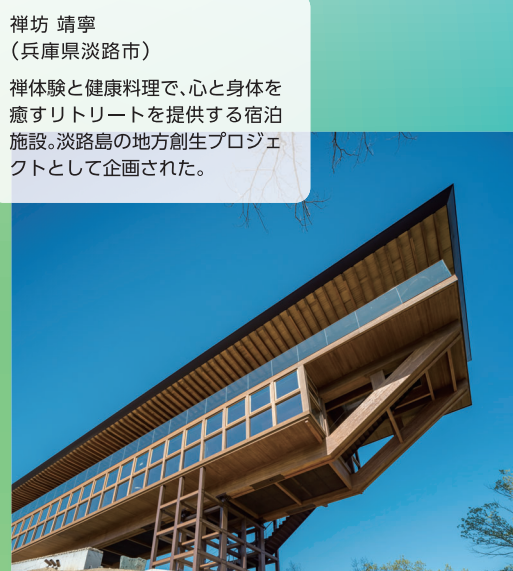
山須原発電所 ダム通砂対策
(宮崎県東臼杵郡美郷町～諸塚村)
耳川水系総合土砂管理計画の中核となる3ダム連携通砂事業のうち、最上流の山須原発電所ダムの通砂対策工事。



NOT A HOTEL ISHIGAKI EARTH
(沖縄県石垣市)
NOT A HOTEL社販売の別荘。3千坪の敷地に1棟だけ配置し、石垣島の自然を独り占めできる。



ジェイトラス
「J& TERRACE」、「J& MALL」
(東京都北区)
十条駅前の土地の高度利用により生活インフラ施設を整備し、まちの活力・安全性・防災性向上を実現する。



禅坊 靖寧
(兵庫県淡路市)
禅体験と健康料理で、心と身体を癒すリトリートを提供する宿泊施設。淡路島の地方創生プロジェクトとして企画された。



大洲バイオマス発電所
(愛媛県大洲市)
開発・建設・運営まで当社が手掛ける。木質ペレットを燃料とし、環境負荷の低い再生可能エネルギー由来の電力の普及拡大。



国立競技場
(東京都新宿区)
2025年4月よりコンセッション事業として国内最大級のナショナルスタジアムの運営を開始。グローバル水準の体験価値を提供するスマートスタジアムの実現を目指す。



北陸新幹線 足羽川橋りょう
(福井県福井市)
北陸新幹線の金沢～敦賀延伸工事で、福井駅から敦賀方面へ約1.4kmの足羽川を挟む区間の施工。



新東名高速道路 秦野西
(神奈川県秦野市)
新東名高速道路建設事業のうち、神奈川県秦野市域の総延長1,355m区間で切盛土工および下部工等を築造する工事。



YKK AP30ビル
(富山県奥市)
自然環境と社員の健康に配慮したオフィス。ZEBを実現し、WELL認証のPLATINUM取得を目指す。



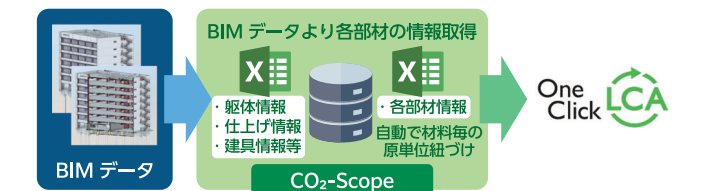
大阪市工業用水道特定運営事業等
(大阪府大阪市)
100年後も工業用水道を持続的に支える運営体制を目指し、ICT活用で漏水リスクを常時把握し、修繕・更新のバランスを最適化。



愛知県有料道路
(愛知県半田市)
国内初の有料道路コンセッション。データを活用した維持管理の効率化と安全性を実現。

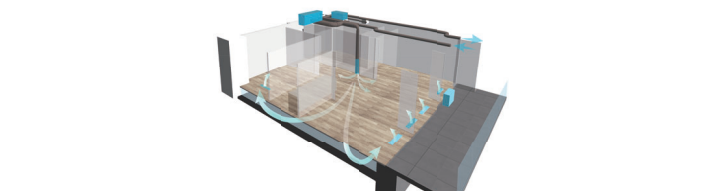


LCA 評価支援システム「CO₂-Scope」



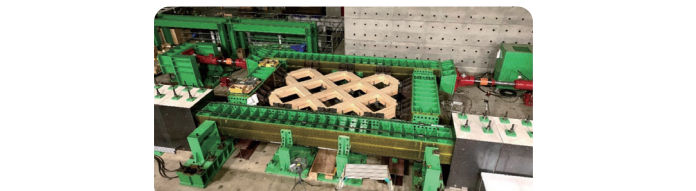
BIM データと LCA ツールの連携を自動化することで、建築物のライフサイクルを通じた環境負荷を短時間に評価。建物の新築・解体時等のCO₂排出量を早期に把握できるため、効率的な削減提案や設計変更時の迅速な環境評価につながり、カーボンニュートラルの実現に寄与。

集合住宅向け 床チャンパー空調システム



住戸内を連続する二重床空間を利用し「気流と床面輻射」を調和させた、快適・デザイン・環境性に優れた新構造の住戸セントラル空調システム。首都圏のハイクラスマンションを中心に順次導入され、グッドデザイン賞ベスト 100 を共同受賞した注目技術。

木鋼組子®



都市型木造を拡大する要素技術のひとつとして中高層鉄骨ビル向けに開発された、圧縮に強い木材と引張に強い鋼材を組み合わせたラチス状耐力壁。耐震要素に木を使用することで耐火建築物でも木をあらしにできることを活かし、デザインと構造を融合。

PFAS 吸着処理システム「De-POP's ION®」



PFAS 含有水を浄化する可搬式の装置を開発。含有水を処理場で運搬する必要がなく、オンサイトで設置・稼働できるため、運搬コストを削減しつつスピーディーな浄化を実現。現場状況に応じて循環処理とワンスルー処理を選択可能な柔軟性が特長。

山岳トンネル施工の自動化技術



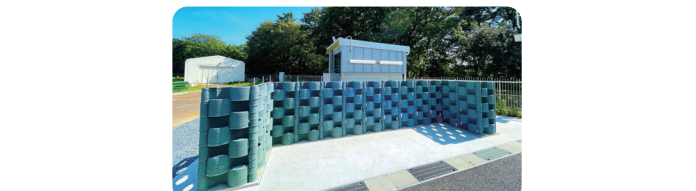
鋼製支保工建込みや発破装薬等の危険を伴う作業を自動化する山岳トンネル掘削技術。切羽直下作業の完全排除により災害リスクを低減し、少子高齢化等による担い手不足にも対応。安全性の向上と熟練技術に依存しない施工へ寄与する。

導水路トンネルリニューアル施工の自動化技術



導水路トンネルリニューアル施工における吹付・左官やパネルライニング、資機材の運搬等、大型機械の適用が難しい狭小空間での作業を支える自動化技術。人力に頼らざるを得なかった工程を機械化することで、安全性と生産性を向上させると同時に、労働負荷の削減を実現。

3D コンクリートプリンティング技術



3D プリンティング技術とコンクリートを融合させ、ロボットによる自由なデザインを実現する建設技術。複雑な自由形状が造形可能といった 3D プリンティングの特長を活かし、現場で活用しやすい構造とデザイン性の両立、手軽な運搬・組み立てを実現。

権利クリアな画像生成 AI サービス



建築家やクリエイターなどのクリエイティブワーク支援と活躍機会創出を支援するため、安全・安心な AI の提供を推進。著作権者への公正な利益還元のある方を模索しながら、画像生成 AI 時代における様々な産業の持続可能な発展を目指す。

- 1919 飛島組傘下で「前田事務所」開設
木曽福島第二水力発電所受注(長野県)〈創業最初の工事〉
- 1921 北海道天塩線鉄道路盤工事受注(北海道)
- 1924 穂積発電所受注(長野県)
- 1926 豊實発電所受注(新潟県)〈日本初の本格的ダム式発電所〉
- 1946 「前田事務所」を
「前田建設工業株式会社」へ改組(11月6日創立)
- 1951 営団地下鉄丸ノ内線受注(東京都)
- 1955 田子倉ダム受注(福島県)
- 1965 姉崎火力発電所超高压開閉所受注(千葉県)
- 1972 前田建設協力会「前友会」発足
- 1992 東京湾横断道路中央トンネル木更津北工区受注(千葉県)
- 2000 千葉市消費生活センター・計量検査所複合施設PFI特定事業受注(千葉県)
〈日本初の本格的PFI事業〉
- 2004 ストーンカッターズ斜張橋受注(香港)
- 2013 インフラ運営事業開始
- 2016 仙台国際空港運営開始(宮城県)〈日本初の国管理空港コンセッション〉
- 2019 八峰風力発電所売電開始(秋田県)
創立100周年事業として新技術研究所「ICI総合センター」設置
Aichi Sky Expo【愛知県国際展示場】運営開始(愛知県)〈日本初の展示場コンセッション〉
- 2021 共同持株会社「インフロニア・ホールディングス株式会社」設立



前田建設工業株式会社

〒102-8151 東京都千代田区富士見二丁目10番2号
<https://www.maeda.co.jp>

 **INFRAFRONIER Holdings Inc.**

前田建設はインフロニア・ホールディングスグループの一員です

